

(様式5)

事業実績書

1 校内概要及び事業実施対象学年

【校内概要】

児童数29名(男16名、女13名)

学級数4(1年, 2年の単式, 3・4年, 5・6年の複式)

教職員数9名

【実施対象学年】

全学年(1～6年)

2 事業実施期間

平成23年5月1日～平成24年2月15日

3 事業実施内容(環境教育、老人クラブや地域の方々、保護者とのふれあい・交流)

(1) 岩泉の自然保護に係わる行事への参加

- ・「未来を育てる育樹祭」への参加(今年度は中止)
- ・びん回収(袋綿子ども会 7月24日)

(2) 地域の森林資源の学習

- ・大峰登山(5月17日)

(3) 地域の河川の環境学習

- ・水生生物調査(5・6年 7月15日)
- ・岩洞第一発電所見学(5・6年 9月21日)
- ・岩手県立水産科学館見学(3・4年 9月21日)
- ・龍泉洞見学(1・2年 9月15日)

(4) 山間地を利用した農業体験学習

- ・ソバ畑の石拾い等の整地作業(7月15日)
- ・筋立て・ソバの種まき(7月24日)
- ・刈りとり作業(10月5日)
- ・脱穀(10月26日)
- ・ソバ打ち(11月17日)
- ・収穫祭(11月18日)

4 事業の成果と問題点等(事業実践の視点を踏まえて)

(1) 事業の成果

- ① 水生生物調査や岩洞第一発電所、龍泉洞の見学を行ったことで、児童が身近にある河川や湖や地域の自然に興味を持ち、また、環境再生可能な自然エネルギーについても理解を深めるなど、美しい自然を守ろうとする意識も高まった。
- ② 春の登山をとおして動植物に興味・関心をもつとともに、自然と触れ合うことの楽しさや自然の不思議に気づくことができた。
- ③ びん回収を児童と保護者が行うことで、一緒に活動することの楽しさや資源を有効

活用する活動の大切さを感じることができた。

- ④ 地域の特色を生かした農作業を体験することで、農業のすばらしさや自然の偉大さに気づくことができた。
- ⑤ 異年齢児童による活動や保護者（親）・地域が一体となった活動をとおして、労働の喜びや協力することの大切さを体験し（共生）、自然環境に目を向け、環境を守っていこうとする心を育むことができた。
- ⑥ 地域に伝わる食文化を体験することで、「ふるさと小川」の良さに気づき、地域を愛する気持ちを育てることができた。

(2) 問題点（今後の課題）等

- ① 食に関する学習・活動や育樹祭、水生生物調査、社会科見学などをとおして自然環境に関わる知識・理解をさらに深め、それを守ろうとする意識を高めていくこと。
- ② 地域の清掃活動やリサイクル活動など、環境美化教育やエコ教育についての活動を広げていくこと。
- ③ そば栽培活動は、自然を相手にする活動なので、天候状況等をよく把握し、地域の先達から指導を仰ぎながら土作りや日程等をさらに吟味して実施していくこと。
- ⑤ そばの特性やそば栽培に適した土質について学習したり、そばの成長の観察を行ったりしながら、知識面の充実を図るなど、そば栽培学習を深化・発展させていくこと。